

第40回（2024年度）若手研究者のための健康科学研究助成受贈者一覧

a. 指定課題（1件、300万円を助成）

（五十音順・敬称略）

氏名	所属	研究テーマ
中込 敦士	千葉大学 予防医学センター	ピアサポートアプリによる高齢者の身体活動促進によるフレイル予防事業の社会実装研究

b. 一般課題（12件、一律100万円を助成）

氏名	所属	研究テーマ
和泉 優奈	徳島大学大学院 医歯薬学研究部	運動時における骨格筋アミノ酸代謝動態の意義と栄養学的介入法の検討
萩野 龍平	広島大学大学院 医系科学研究科	肥満と運動が脂肪由来間葉系幹細胞の有する免疫調節作用に与える影響の解明
川間 羅聖	同志社大学 研究開発推進機構	デイトレーニングによって生じる筋萎縮の個人差を予測する新たな試み—筋線維組成を捉える非侵襲的手法を活用して—
Koustav Roy	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	覚醒と行動調節におけるドーパミンD3受容体を発現するユニークな神経細胞集団の役割の解明
酒井 洸典	東海大学 医学部	運動習慣獲得のための行動変容モデルの開発—テキストマイニングで探索する促進要因と阻害要因—
高田 泰史	金沢大学附属病院 リハビリテーション部	変形性膝関節症の「痛み」を骨格筋活動からひも解く—PETを用いた歩行時の骨格筋活動評価—
土田 竜貴	東京都立大学 人間健康科学研究科	運動中の空間認知は海馬に対する運動効果を媒介するか？
土橋 祥平	筑波大学 体育系	若年期の運動不足が将来の脳機能低下を引き起こす“脳神経肥満”機構の解明
中村 美幸	順天堂大学 スポーツ健康科学部	うつ病の発症に影響するネガティブ記憶は運動で予防できるのか？—記憶の忘却効果をもつ指示忘却に対する運動の有用性の検証とその神経基盤の解明—
朴 寅成	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	運動習慣が深睡眠に及ぼす影響— δ 波の安定性に基づく機能的な睡眠脳波の解析—
方 凌艶	東京大学大学院 薬学系研究科	糖嗜好形成の分子・神経回路基盤の解明
森 裕樹	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加とヘルシーエイジング研究チーム	社会参加に消極的な高齢者の運動や栄養に関する健康行動がフレイルに及ぼす影響—追跡研究による実態解明—

（所属は応募時のものを記載）